

# ミコシ

1999. 1. 15 No. 74

Bangladesh と  
手をつなぐ会

## 目次

冬のスタディツアー報告	
新スタッフの紹介	2P
水害の状況は?	3P
ツアー参加者の感想	4P
現地訪問報告会などの報告	6P
チャリティコンサートのお知らせ	7P
今後の活動予定	8P
会計報告	別紙

## 洪水のりきり着実な村づくりへ

十二月の後半、二ヶ坂さん、宇治さんなどいつものメンバーとはじめて行くスタディツアーの方々、合わせて14人が洪水あとのカラムティ村を訪問しました。今回の洪水はじわじわとゆっくり来てゆっくり引いたので、稲など被害はありませんが野菜が思いがけずとれたり、まあまあの結果だったようです。

五ヶ園の大きい世界のNGOもかけつけたし

いい協力が国中に広がりました。

村の人たちはノルジャマンさん、ナースたち、

ションタニシヨンスタによる村の調査、

今までなかった家の番号をつけて登録

をするなど着実な具体的な村づくり

をはじめています。

洪水のための募金ありがとうございました



## 冬のスタディツアー

### 洪水視察、母子保健センター、そして村人との交流

12月22日から29日まで、98年度のバン格拉デシュ・スタディツアーが行われました。今回は案内役のラフマンさんを含めて14名が参加。例年のツアーと違って運営委員を交えたメンバーでは、洪水被害状況の視察や母子保健センターの運営会議なども行ないました。初参加のメンバーも積極的に村の中に入っていく、村人や子どもたちとの交流を図りました。

☆ 井口、二ノ坂2人の先発組は21日に、後発の12人は遅れて23日に村に入りました。この季節のカラムディ村は、日中は春から初夏の温かさ、朝夕はやや冷え込みますが、乾季で雨も降らず、真冬の日本から訪問した私たちにとって実に快適な毎日でした。(体をこわす人は何人かいましたが。) 昼間は暖かな陽射しを浴びながら、学校訪問や、水害被災地の視察、母子保健センターの見学、シヨングダニ・シヨングスタとの話し合いなど、短い期間でしたが充実した日々を過ごすことができました。

★ 懸念された洪水のきずあとは私たちが見る限りはあまり見られません。カラムディ村でも、途中の道でも周りには菜の花畑や、青々とした田畑が広がっていました。カラムディ村周辺は河や運河から離れており、洪水の直接の被害は免れたそうです。それでも運河から500mの田畑ではすっかり水没し、今年の収穫は全滅したといえます。国全体では、1971年の建国以来の大きな被害だったと聞きました。政府の救援・復興活動も遅れており、寒さになれていないこの国の人にとって、家を流されて寒さをしのぐ場所のない人達の避難場所、衣類の不足は深刻で、それに収穫がなかったために穀物を始め諸物価の上昇が生活を圧迫しています。

☆ カラムディ村の「シヨングダニ・シヨングスタ」は9月に被災地に医療救援チームを派遣し、3日間の救援活動を行ないました。情報の不十分な中でしたが周辺地域でもっとも被害のひどかった地域にキャンプを張り、医師1人、看護婦2人、補助員1人のチームを派遣し、診療活動を行ないました。2日目、3日目は被災家庭を訪問して洪水による被災者を中心に診療を行なったという報告を受けました。

★ さて、母子保健センターは新しい段階に入りました。今年の9月に2人の医師が加わりました。念願の産婦人科の女医アティア・ハスミンとそのご主人のアザド医師です。卒業して2年という2人は同級生で、学生時代から貧しい人達のための医療をしたいという希望を持っており、都会の金もうけ主義の病院からここにやってきたと話していました。3人の医師で、妊婦の検診や出産介助はもちろん、一般患者の入院受け入れや救急患者への対応も可能となりました。これに伴って看護婦も5名へ増員となり、シャクティラニ、ベラ2人の看護婦の辞めた後の体制作りを行なっています。村の家々を回っての巡回検診も再開されました。レントゲン装置や超音波装置などの設備の充実と共に、治療機関と同時に、予防保健の体制も更に充実してきました。

(二ノ坂 保喜)

## ハングラデシュ現地水害の状況報告

私たちが訪れた 12 月下旬の現地は乾季で、ちょうど日本の 10 月下旬頃の気温でした。昨年、ハングラデシュ国土の 3/4 を水没させた大災害の水はすっかり引いていましたが、ダッカから村に辿り着くまでの約 8 時間の風景からは、サトウキビの枯れ具合や家屋の変色した様子に、「この部分まで水に浸かったのだろう」と思わせる状況がいくつも目に飛び込んできました。幸い母子保健センター周辺では大きな被害がなかったようですが、災害を受けた近辺の地区の人々は、以下のように語っていました。

「ベッドや机の上までの浸水がなければ、それらの上で食事の準備をしたり睡眠をとるなどの生活を続ける。しかし今回は大人の胸ぐらいの水位が一ヶ月続き、家屋の壁は倒れた。その為バナナの木をいかだにして避難した。洪水の時は下痢や熱を出す病人が増え、家畜は死んだ。病気に罹った時には病院に行ったり、巡回に来た医療機関に受診した。」



インタビューに答えてくれた村人。  
この人の胸の高さまで水が来たという。

ちなみに、トイレなどはどのようにしていたのか尋ねてみました。一応自分たちの住まいから遠くは離れたところで用を足すらしいのですが、その場所の水との仕切りがある訳ではありません。上水道と下水道が混ぜこぜになったような状況での生活は、どんなに厳しいものであったかがうかがえました。

多くの人々の命や生活に容赦なく被害を与えた大洪水でしたが、その犠牲とは裏腹に、水が引いた跡の田畑は肥沃となり、野菜類はすくすく育っている様子が印象的でした。

(岩切篤子)

私たちの会では、募金の用途については、シヨンダニ・シヨンスタに任せていますが、その具体的な用途について、聞いてみました。

- ① 洪水の被害を受けた子どもたちへの支援… ハングラデシュでは、1 月から新学期が始まるので、教科書や洋服代に補充する。
- ② 洪水後の食料不足の影響で病気に罹った人々を対象とした治療
- ③ 洪水中に使用した医療、医薬品代への補充
- ④ 今後の災害に備えた基金

大きく分けて、以上の 4 点を考えているという報告でした。

## ♪♪ —スタディーツアー参加メンバーの感想— ♪♪

今年、男性二名、女性六名、二十代から六十代の幅広い年齢層とキャラクタ―が揃い、計八名のツアー参加者が現地入りをして来ました。村人との触れ合いを通して、バングラデシユの国の様々なことを話し合ったり驚きあったりした日々でした。皆さまお疲れさまでした！

数年前から是非一度は行ってみたい、と思っていたのですが今回やっと実現することができました。「百聞一見にしかず」のことば通り、写真、ビデオ、話とたくさん見たり聞いたりはしていたものの、自分の体を通して感じることでしか本当に理解できないものだということがよくわかりました。中学生のすばらしいディベートに感動したり、村中を案内して村人の生活を細かに説明してくれた青年達の人としての暖かいぬくもりを肌で感じた数日でした。 — 今給黎 靖子 —

今回初めて参加し、日本からカラムディ村までの距離の壁と大変な環境(道路・生活設備)を実感しました。ハイロゲンと共に参加し元気に帰国できたものの、帰国の安心感と年末年始の多忙の中で腰痛となり、ボランティアはこんなにも大変なものかと考えさせられました。カラムディ村での生活の中で私が一番感じたことは、村人の衛生観念をもっと向上させる必要があるということです。学校教育だけでは不十分なので、母子保健センターのこれからの活動のキーワードになって欲しいと願っています。 — 衛藤 治代



一週間と短い間のスタディーツアーでしたが、私には何年もの経験のようでした。

想像を何倍も超えた経験でした。好奇心あふれたくりくり目玉にかこまれて、自分のことから、宇宙のことまでいろいろな事を考えた一週間でした。

そして、今でもみなさんの優しさを身にしみて感じています。ありがとうございました。

— 式町 寛美 —

予備知識知識無しの初参加のため、見聞きした全てが強烈的な印象となりました。ダッカ市の喧噪と砂塵と貧困者の群は想像を絶するものでした。反面、桃源郷宛らの田園風景の続く中、並木道の果てに落ちる夕陽の美しさは感動的でした。討論会で堂々と自説を述べる村の中学生の雄々しさに、この国の未来に光を見ました。次代を担う子ども達の生命・教育・福祉の保障のために私に出来ることから始めようと決意させた、自分発見の貴重な体験でした。心から感謝いたします。

— 戸丸 敦子 —

友人とそのおがーさんに誘われるがまま、大した深慮遠謀もなしにこのスタティ・ツアーに参加した私でしたが、実際にバングラデシュに行ってみると様々な経験をする事ができ、今では本当に良かったと感じています。実際に現地を見て、問題点を知り、それに対する自分なりの見解を作ることができました。いろいろな場面で自分の力の無さを痛感し、いろいろなことに驚き、そしていろいろな人と触れ合ってきました。この経験をもとに、これから少しでも「バングラデシュと手をつなぐ会」の力になればと思っています。

— 高橋 大貴 —

☆ 私達だけ食べて、ごめんなさい。☆  
国や民族によって、料理は随分違うので、めずらしく、出されるもの全ては口にしました。目的地途中、土ぼこりの町で食した、じゃがいも等のカレー味の三角の揚げ物シンガラは、又、いただきたい一品です。のどかなカラムディ村の、ある家庭を訪問した時、歓待されながら、熱々のルティと、なすのフライは最高でした。牛糞の燃料を横目で見ながら… 何でも、いやしく食べた私は、ラマダンの報復か、一日中苦しむはめになり、仲間の手厚い看護を受けました。「持つべき友は看護婦なり」教訓。

誕生会もこの30年来ぶりで、超！感激でした。

— 境 孝子 —



### ～バングラデシュの旅を終えて～

飛行場から目的地シヨングニまでの陸路約3時間の間、二ノ坂先生とガイドとの間で交わされる聞きなれないベンガル語と英語、そして車窓の風景、荒っぽい運転が私の眠い目を覚ましてくれた。

村に到着後、病院関係者との水害視察の途中で私のまわりは20～30人の村人や子供達に囲まれびっくりした。最初は汚れた服や裸に戸惑ったが彼らの明るい笑顔や「ジャパニ」という声にすっかり打ち解けた。また、カメラを向けると皆一様に神妙な顔つきになり、何度も吹き出しそうになった。

貧しい暮らしの中、またラマダンの期間中にもかかわらず病院スタッフやその家族、村人の皆さんに何度も食事をごちそうになり、申し訳なさ感謝の気持ちで一杯になった。

これからも長く支援と交流を続けたいと思います。

— 井口弘幸 —

今回、姉の仕事の関係でこの会のことを知り、カラムディ村を見てみたい、という軽い気持ちで参加しました。言葉の違いに少し戸惑いながら過ごした期間でしたが、様々な人に出会い、多くの物事を自分自身で体験することができました。日本での時間に追われた生活とはまるで違う一日を送り、今までの毎日を考えるようになりました。看護婦さんたちの病院での仕事内容を見たかったです。何もかもが初めての事なので時間がなく、残念でした。ちと、村での生活を知り、多くの人と話したい、もう一度今度は、長く村を訪ねたいと思っています。

— 熊添 智春 —

## 「国際協力はじめの1歩」にブース参加しました。

98.11.28 (土) 15:30~17:30 天神ビル 10号会議室

福岡で行われている国際協力活動を様々な面から紹介しようというこのイベント、国際協力を始めたいと考える市民の方に、福岡のNGO12団体が活動紹介ブースを出展しました。公募で当選した参加者の方は皆さんとても熱心で、各団体の紹介を真剣に聞いていらっしゃいました。私たち(宇治・古賀)も会の活動紹介と洪水募金のPRを行い、参加者の方のご質問を受けました。何人もの大学生が興味を持って話を聞きに来てくれたのがうれしかったです。物品販売もとても好調でした。

私自身も、他団体の紹介を見ているような活動を知ることができ、とても有意義でした。NGO同士が学び合うこともこれからますます重要になってきます。このような合同イベントにはどんどん参加したいと思っていますので、お暇なときはどうぞお手伝いをお願いします。

報告：古賀 南

## 98現地訪問報告会を行いました。

98年11月3日(祝) 11:00~17:00 あいれふ 講堂

今回の報告会は、午前は〈バングラ初級編〉として村と会の活動報告、午後は〈バングラやや上級編〉として現地訪問報告・質疑応答という2部構成で行いました。

7人の訪問メンバーによる、スライドを用いた活動報告、メンバーが感じた村の成長やまだまだ残る問題点をお伝えできたかと思えます。また、今年の訪問ビデオは中学校教諭と看護婦の1日を通して問題点を紹介するという視点で作成し、分かりやすいとご好評をいただきました(^^)。

お昼は和室でのバングラカレーと紅茶。サリーの着付けコーナーも盛況でした。参加者からの質問は、村の生活習慣、障害者への対応、洪水についてなど様々で、手をつなぐ会がいろいろな関心から見られていることを感じました。(でも、会員さんの姿が少なかったのが残念!)

報告：古賀 南



長時間お付き合いくださったみなさん、  
ありがとうございました。

1月31日は冬のスタディーツアー報告会です。

ご参加お待ちしております!

「僕らの通信簿～10年を振り返って～」昨年12月6日に西新事務

所において定例会「僕らの通信簿～10年を振り返って～」を行いました。当日は、スタディーツアーの参加者も来て下さって、新鮮なメンバーと共に会の十年を振り返ることが出来ました。今まで発行されたミロンをもとに、会の活動や予算規模の変遷だけでなく、会の運営体制にまで話が広がり、充実した定例会になったように思われます。特に、ミロンの会報としての機能が不十分であることの例としてビレッジドクターとの関係を取り上げました。ビレッジドクターとの関係は、当初に比べ、大きな変化が起きていたにもかかわらず、ミロンにはあまり触れられていませんでした。今まさに十年誌の編纂作業も進んでいる中、私たちの会のあり方を一緒に考える機会が持てたことは、とても良かったのではないのでしょうか。これからもこのような機会を作っていきたいと思しますので、皆さんもどしどし参加して下さい。お待ちしております。なお、今回の定例会のダイジェストを作っていますので、ご希望の方は会事務所までお申し付け下さい。

報告：古賀南、衛藤達生

## チャリティーコンサートいよいよ来月です!

95年以降、一時休止しておりましたチャリティーコンサートを、2月21日に再開する事になりました。今回はかつてフォークソングやNHKの朝のドラマで主題歌などを歌われていた本田路津子さんに出演をしていただくことになりました。現在本田さんはゴスペルシンガーとして讃美歌などの教会音楽を専門にご活躍中ですが、透き通るような爽やかな歌声は私たちの心を和ませてくださいます。芸能界を引退して以来、本来ならば教会や施設の奉仕活動の中でしか歌われないそうですが、今回はバングラデシュの子どもたちの未来に向けて、特別に歌っていただくことになりました。

前号のミロンでご案内して以来、事務局の方には早くもお問い合わせが来ています。座席は252席しかありませんので、ご予約はお早めをお願い致します。尚、チケットのご購入は同封の郵便振替用紙に

### 必ず「コンサートチケット代金」とご記入の上、

お振り込みください。ご入金の確認が済み次第チケットの郵送をさせていただきます。

開催日時	1999年 2月21日(日) 13:00開場 13:30開演
開催場所	NTT夢天神ホール (岩田屋Zサイド7階)
入場料	前売券：一般1,500円 学生以下1,500円 当日券：一般2,000円 学生以下1,500円

コンサート当日は、バングラデシュの民芸品・紅茶・その他の販売を致しております。みなさまお誘い合わせの上、是非お越しください。スタッフ一同お待ちしております。  
(担当 岩切篤子)

## お知らせとお願いコーナー

### 1月～3月の行事予定 (未定・変更される場合があります。ご確認ください。)

月 日	時 間	内 容	場 所
1月21日(木)	19時～	運営委員会	西新事務所
1月31日(日)	14～17時	スタディツアー報告会	アクロス3階研修室(A)
2月4日(木)	19時～	事務局会議	にのさかクリニック
2月18日(木)	19時～	運営委員会	西新事務所
2月21日(日)	13時～	チャリティコンサート	NTT夢天神 (岩田屋Zサイド7F)
3月4日(木)	19時～	事務局会議	にのさかクリニック
3月4,5日(木金)	14時～	ミロン発送作業	西新事務所
3月12,13日(金土)	14時～	バザー用品値付け、準備	西新事務所
3月14日(日)	13時～	チャリティーバザー	西新商店街
3月18日(木)	19時～	運営委員会	西新事務所

## スタディツアー報告会

1月31日(日)にアクロス福岡 3F こくさいひろばで、スタディツアーの報告会があります。今年も総勢14名のにぎやかなツアーでした。どんな話が飛び出すかは当日のお楽しみです。スタディツアーに興味のある方はもちろん、ご家族やお友達も一緒に是非ご参加ください。

### ☆☆☆チャリティーバザーを3月14日(日)に行います☆☆☆

バザーに提供していただける品物がございましたら、西新事務所またはにのさかクリニックまでお持ち下さい。持込みのできない方はお電話下さい。

前準備やバザー当日のご協力も合わせてお願いいたします。

西新事務所 (092)844-1369

にのさかクリニック (092)872-1136



### Bangladesh と手をつなぐ会

〒814-0002 福岡市早良区西新5-4-20

TEL & FAX 092-844-1369

代表 大木松子

郵便振込 01720-2-10442



## 会計からのお知らせ

洪水募金に沢山の方の協力があり、12月14日で

**総額 775,525円 となりました。**

スタディーツアーの参加者に、現地に届けていただきました。現地NGO『シヨントニ・シヨンス  
タ』が中心となり、有効に現地の復興に使われます。経過はミロンを通して皆様に報告していきます。  
心より感謝申し上げます。

### (洪水募金協力者)

林栄一 日経西部事業開発(株)：吉貝・他一同 牟田口誠 藤井智子 溝口良子 立石優 真鍋牧子  
田中かずよ 田中良明 川島道子 橋本孝子 蔵淵富士子 九州大学：敷野・吾郷・柳原ゼミ有志  
一同 湊健児 千代田昭市 蛭川文子 樋本美子 乾沢千代子 関根悠紀子 上野文子 大木薫  
箕迫高明 吉村暢洋 竹内サキ子 桶谷恵子 栗秋和子 カトレア会・衛藤グループ 村上セツ子  
乙幡義子 金丸克子 澤野由美子 前田トミ 竹田桂子 安永好子 立花時子 清水チカ 松隈則子  
田辺幸子 川西薫 幸田あけみ 櫻井尚明 折田璋子 尾田シヅ子 小野美代子 飯田勝子  
杉園順代 吉住広美 やすらぎ聖書研究会 八女市立福島中学校・父母教師会 小池啓巨 大住敏子  
浄水通教会・ノエミの会 石田靖男 梶原照代 則末千春 赤塚物産(株) 田中美佐子  
橋本由紀子 荒木龍男 平原千鶴 庄崎恵子 星禮子 平田浩子 小橋清 田中丸節子 飯本寛  
中島須磨子 わらび訪問看護ステーション 舩永・前田・福留 村石敦栄 ソロプチミスト福岡東  
緑川内科循環器科医院 ラフマン 古木スミ 岩田ミドリ 久次美代子 工藤俊一 東海林路得子  
板本忍 東和大学・斎藤研究室 山内芳広 山梨市立加納岩小学校・児童会 西南学院中学校  
西村洋子 福岡女学院中高等学校・宗教部 久留米大学医学部文化祭 西嶋克司(FACT)  
鈴木宏造 石松良子 宮辰建設(株)・あゆみの会 堤等 末永孝之 芝幹夫 田中聡伸 松本可愛  
村上直 佐野英子 藤井正博 野村年宏 本山能成 山本秀文 岡田和子 井上寿一 山本幸教  
柴田勲 緒方稔泰 内田尚生 平田政司 鶴田帝香 福田俊幸 天本隆 松元敏博 中野正剛  
井上成明 山内隆房 小林篤 永石昭生 匿名希望者 (敬称略)

### (募金協力者)

斎藤止 佐伯邦男 村橋良彦 内山浩子 宇治野みさえ 安達満里子 杉野喜和子 阿部幸世  
安永好子 萩原輝久 小串八津子 前田恒善 夢見る子ども基金内：鴨川祥子・熊添輪歌子  
北島弥太郎 高橋啓泰 前田寿子 鈴木恵美 牧田松子 渡辺万里子 柿木千鶴子 下村美智代  
福岡市原爆被害者の会・吉永正子 ソロプチミスト福岡東 松尾邦子 下田廣子 西田清子 星禮子  
山野皮膚科医院・山野龍文 有井和恵 富田桂子 武石歯科医院・武石信子 岩月マリコ 原田妙子  
中村恵子 二丈町立福吉中学校 渡辺信子 中谷康子 松井岩美 くすりのかも川 西南学院中学校  
カタリナ聖基金 吉川八重子 儀間敏彦 南里昌子 応地弥生 大穂千鶴子 小泉カツ子 進一  
吉田タエコ 茂呂塾保育園 にのさかクリニック募金箱 千代田昭市 池田愛美 小泉雅江  
高瀬富康 井上栄次 大浦エミコ 上田八重子 上野すぎえ 阿部千鶴 石井千津子 母里マサヨ  
日本基督教団新津教会・婦人会 (株)ヘルスケア経営研究所 山口マツヨ 牧野ツヤ  
中村三郎・美也子 井口弘幸 井口保 水上義春・ミヨシ 真能和彦 田代カメヨ 相馬ナホ子  
池田久良治 調正路・清子 匿名希望者 (敬称略)

### (新会員紹介)

大熊希和子 安永好子 山田政巳 (敬称略)

### (新協力会員紹介)

渡辺玲子 儀間敏彦 板本忍 (敬称略)

本年も、ご協力をお願い申し上げます。